



# 第87回 定例研究会

看護や介護の現場では人手不足、24時間体制、対人サービスなどにより様々な状況が疲労を招いています。

第87回定例研究会では、医療機関で働く看護職、福祉機関で働く福祉職の労働を取り巻く疲労の現状と課題、産業疲労研究のスペシャリストの先生方と対話により、現場に活かす疲労研究について探究します。

医療機関で働く看護職、福祉機関で働く福祉職の皆さんの働きやすい環境づくりや労働者のWell-Beingを高めることができるとができるヒントを得ることができます。機会になればと思います。



名古屋で、開催です！

日時 2017年10月15日(日) 午後13時～17時

参加費  
無料

会場 日本福祉大学名古屋キャンパス 北館8階(8ABC)

愛知県名古屋市中区千代田5-22-35

<http://www.netnfu.ne.jp/> 地下鉄「鶴舞駅」または、JR中央線「鶴舞駅」徒歩3分

一般演題発表 13:00～14:30(90分)

- ・演題募集期間:7月1日～9月30日
- ・抄録:①テーマ、②発表者氏名と所属、③要旨400字程度
- ・発表時間:10分 質疑応答時間:5分

シンポジウム 14:40～16:10(90分)

テーマ:看護と介護の現場と産業疲労研究者との対話～産業疲労研究を現場に活かす～

・座長

佐々木司(労働科学研究所 慢性疲労研究センター) 久保智英((独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所)

・「交代勤務で働く看護職の職場の現状と課題(仮)」

植村真美(公立西知多病院 副院長兼看護局長)

・「福祉現場の労働を取り巻く疲労の現状と課題」

則竹宏亮(社会福祉法人 昭徳会 特別養護老人ホーム小原安立 グループリーダー 認知症介護指導者 介護福祉士・介護支援専門員 )

・「介護・看護の現場における疲労と睡眠(仮)」

久保智英((独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 産業ストレス研究グループ)

・指定発言

塙田和史(滋賀医科大学医学部社会医学講座 (衛生学))

塙田月美(パナソニック健康保険組合 保健師)

ミニレクチャー『調査票の活用』 16:20～16:50(30分)

・自覚症状調べ 疲労部チェック 作業環境チェック

城憲秀 (中部大学生命健康科学部保健看護学科)

演題申込先 担当世話人 水谷聖子(日本福祉大学 東海キャンパス 看護学部 地域看護学領域)

E-mail [seikom@n-fukushi.ac.jp](mailto:seikom@n-fukushi.ac.jp)に送信してください。産業衛生学雑誌掲載用様式を返信します。